

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和4年1月20日（木）
- 2 確認箇所  
2・3号機建屋西側
- 3 確認項目  
陸側遮水壁におけるブラインの漏えい

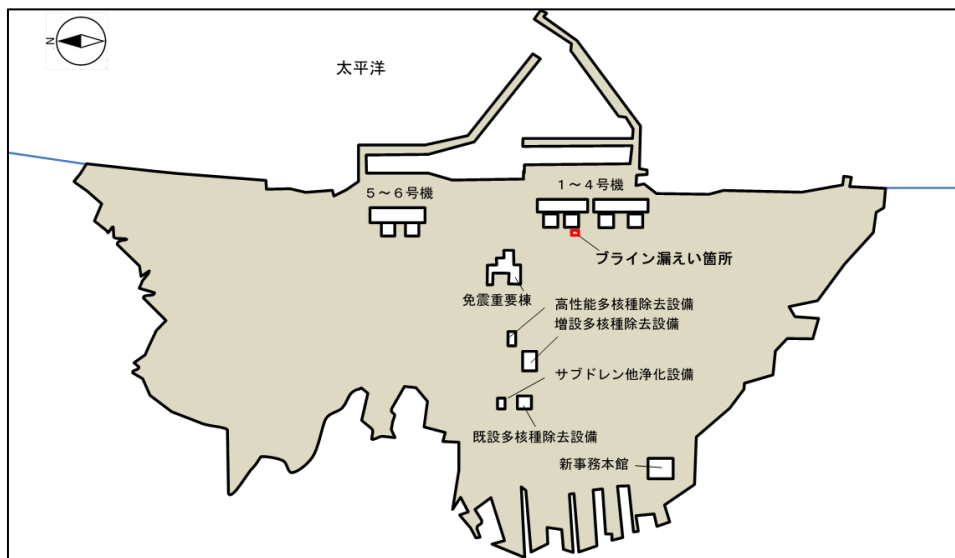
### 4 確認結果の概要

令和4年1月16日に陸側遮水壁のブラインタンク2基において、前日に比べてブラインの液位が低下している事象が確認され、その後2・3号機建屋の西側にて漏えいしたブライン\*が確認された。

東京電力において、ブラインの漏えい箇所調査や復旧作業を行っていることから、その状況を確認し、東京電力から現在の状況について説明を受けた。（図1）

- ・現場ではブラインの漏れが発生した配管のフランジを交換するなど、凍結管の補修作業を行っていた。（写真1）
  - ・漏えいしたブラインの液溜まりがあった箇所は既に乾いており、漏えいした形跡は確認できなかった。（写真2）
  - ・現場確認後、東京電力から現在の状況について説明を受けた。概要は以下のとおり。（写真3）
- 1月16日にブラインタンク内の液位低下、ブラインの漏えいが確認された。
  - ブラインの漏えいがあった箇所周辺の凍結管の耐圧試験を実施したところ、ブラインの漏えいがあった凍結管を確認した。
  - ブラインの漏えいはブライン送りヘッダー管と埋設凍結管との継手部が歪んでおり発生した。
  - 漏えい箇所は部品を交換するなど補修を行う。
  - 原因は凍結による応力によるものと推定しているが、今後、詳細な原因調査を予定している。
  - 今回の漏えいによる遮水性能への影響はない。

※ブライン 間接冷凍方式の冷却装置で使用される二次冷媒。塩化カルシウム水溶液や塩化ナトリウム水溶液、エチレングリコールなどが用いられる。東京電力の遮水壁では30%塩化カルシウム水溶液を使用している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
現場を確認する福島県職員の状況  
(右手前)  
(南東側から撮影)



(写真1-2)  
ブライン漏えい箇所の補修作業の状況  
(南東側から撮影)



(写真1-3)  
交換用の部品の状況



(写真2)  
漏えいしたブラインが確認された箇所の状況



(写真3)  
東京電力から説明を受ける福島県職員

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。